

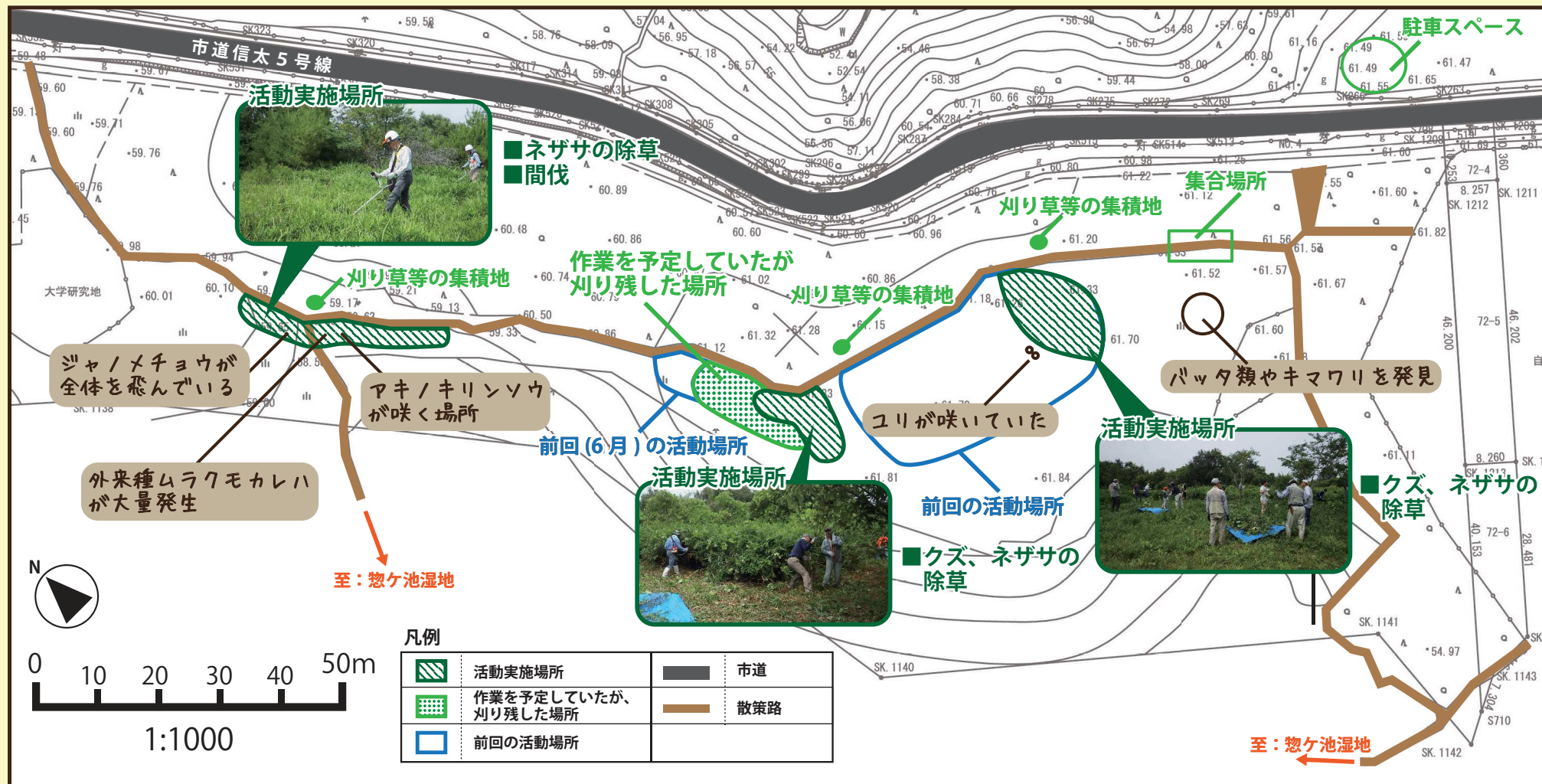
保全活動日記 vol.1

2016年7月10日(日)

● 保全活動実施報告

- 実施日：2016年7月10日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：くもり
- 参加人数：48名

● 活動内容：ネザサとクズの除草
 3箇所に分かれてネザサとクズの除草を行いました。
 刈払い機で刈り取り、除草した草や間伐材を集積所に運ぶ作業を行いました。とても暑い中での作業でしたが、大学生や高校生が多数参加され、若いパワーも加わって、広い範囲で除草を進めることができました。



④ 虫や植物を発見！

草刈りをしていると、お子さんが様々な虫を発見し、大人たちが虫の名前を教えてあげる様子も見られました。



ツチイナゴ



アキノキリンソウ

④ 大阪府立大学の学生による実験



生い茂る森を間伐し、陽が当るようにすることで植物の生育を良くする取組みを実施されています。今回は、背が高いマツの木を伐採し、林内に生えているヤマツツジやモチツツジに陽が当るようにするという作業でした。ロープを木にかけてひっぱりながら、20m程ある木を慎重に切りました。伐採後は明るい陽が差し込みました。

NPO法人信太の森FANクラブ

④ 田丸さんによる惣ヶ池湿地のガイドツアー



午後からはガイドツアーも行われました。この湿地では、レッドデータブックで指定されているものなど、貴重な植物や生き物などを保全しながら、生物多様性を目指す様々な試みを行っています。その一つとして、メダカやニホンアカガエルが生息しており、これらを食べる外来種のウシガエルを捕まえる網を仕掛けているそうです。



ムカゴニンジン



コバナノワレモコウ



ヒメシロネ

野草の紹介では、シソクサはシソの香りがすることや、コモウセンゴケなどの食虫植物も存在するなど、面白い話がたくさん。他にも様々な種類が紹介されました。

④ 希少種が存在する湿地！？

森の中を進んだ先に、希少種のコモウセンゴケ、イシモチソウ、ノグサ、イガクサが生えている場所があります。ここは湿った環境になっており、この環境を好む野草が生える貴重な場所になっているそうです。